

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

『生きる 勇気と 力と 夢を』

＜目ざす栄っ子＞

思いやりのある子
心も体も丈夫な子
よく考え学ぶ子

＜スローガン＞

～さわやかあいさつ
からだをきたえ
えがおで学習 栄っ子～

児童の実態と家庭・地域の現状を十分に踏まえ、知・徳・体バランスのとれた児童を育成する。

校歌

作詞・作曲 山田直美

一 ゆたかに広き 東海の
日と栄えゆく 豊橋に
松の緑の 色映えて
清新の気の 高く澄む
あゝ輝かし栄校

二 かおる文化の 建設に
学びの道を 励み合う
明るくひびく 歌声に
希望輝く このひとみ
あゝぼくたちの栄校

三 あゝ洋々の この空に
高き理想を あおぎつつ
強く明るく 健やかく
そろう足なみ 高らかに
あゝ栄えゆく栄校

(2) 経営重点目標（中期目標）

- 1 すすんで挨拶し、よりよい人間関係を築こうとする子どもを育成する
- 2 心身ともにたくましい子どもを育成する
- 3 確かな学力を身につけた子どもを育成する
- 4 学校が大好きな子どもを育成する（安心安全な学校づくり）
- 5 多忙化解消にかかる業務改善を推進する



(3) 重点努力目標(短期目標)

1 すすんで挨拶し、よりよい人間関係を築こうとする子どもを育成する

重点努力目標（評価項目・評価指標）		
・思いやりの心を醸成する指導、実践	・挨拶への意識向上を図る「話し合いの場の活用」と実践の場としての「挨拶週間の工夫」 ・日頃の授業実践を通した「人の話を大切に聴く生活習慣」の確立と思いやりの心の醸成	・学校評価アンケート（自己評価） 結果の向上
・自己肯定感、自己有用感を育む実践	・子どもが達成感を感じ取れる、子どもが主体となった授業や活動の実践 ・お互いのよさを認め合う学級活動の実践	・学校評価アンケート（自己評価） 結果の向上

2 心身ともにたくましい子どもを育成する

重点努力目標（評価項目・評価指標）		
・基礎体力向上のための工夫	・体力テスト結果から、子どもの体力面の課題を洗い出し、体力向上を図るための運動を授業に導入 ・目標を設定した活動と体力向上を図る運動量の確保	・体力テストの全校の平均数値の向上
・すすんで運動、スポーツにかかわろうとする意欲を育む	・運動の楽しさが味わうことのできる体育授業の創造 ・栄ギネスへの挑戦意欲をかき立てる手だての工夫 ・長放課時の遊びを通した運動への意欲づけ	・学校評価アンケート（自己評価） 結果の向上

3 確かな学力を身につけた子どもを育成する

重点努力目標（評価項目・評価指標）		
・心に残る授業、主体的な学びを育む授業の実践	・学習基盤となる「お話タイム」の充実と、子どもの思いに根ざし、子ども一人一人に活躍の場がある問題解決的な授業の実践 ・友達の考えにかかわらせ、自分の思いや考えを伝え合う活動の充実 ・一人学びや協働的な学びの場でのICT機器の積極的な活用	・公開授業における授業の検証を通した児童の学びの変容 ・授業観察時の児童の思考の変容 ・授業研究協議会での検討
・授業改善に向けた現職研修の充実	・校内現職研修委員会を中心とした問題解決的な授業のあり方についての研修と実践 ・E S Dの視点を核に、子どもが他者と協働しながら持続可能な社会の創造に参画しようとする授業の追究	・基本研修対象者を中心とした授業研究の実施 ・総合的な学習の時間の発表の様子

4 学校が大好きな子どもを育成する

重点努力目標（評価項目・評価指標）		
・学校が好きになる学級経営や安心安全な学校づくりを目ざした現職研修の実施	・教師の資質力量向上を目ざし、授業づくり・学級づくり・安心安全な学校づくりを柱にした現職研修の実施	・自己の成長を記述する若手教員振り返り
・児童の心をつかむ相談活動の実施	・児童把握のためのアンケート（心のふりかえり・親子で生活のふりかえり）の計画的実施とハイパーQUを活用した個への支援、問題に即応した教師・SC・SSW・関係諸機関が連携して行う相談活動の実施	・学校評価アンケート結果の「学校が好き」という児童数の増加
・児童の主体性や協働性を育むことを目ざした特別活動の実施	・児童の主体性や協働性を育むことを目ざした長放課の活用	・学校評価アンケート結果の「学校が好き」という児童数の増加

5 多忙化解消にかかる業務改善を推進する（健康で活力ある教師集団により、子どもたちを支える）

重点努力目標（評価項目・評価指標）		
・タイムマネジメントの浸透と業務量削減に向けた見直し	・業務改善のためのプランを検証し、行事の精選・内容の見直し等を図るとともに、在校時間縮減に向けて業務の取り組み方の改善を図る。	・在校時間調査結果から、長時間勤務している教職員の減少
・開かれた学校に向けての整備に伴う業務の見直し	・地域の人的資源の吸い上げを図り、授業や活動・各種評価活動での準備や運営・まとめの際のサポート体制をつくる。	・学校評価アンケートや振り返りの結果の向上

